

**「あきた元気ムラ・山菜ネットワーク」と首都圏大学との連携による地域生業と
若手担い手人材育成の相乗的活性化方策に関する研究 【計画書レジュメ】**

2018 年 3 月

大正大学エンロールメント・マネジメント研究所

専任講師 出川真也

1. 趣旨

首都圏連携等を視野に入れて、①地域集落を基本単位とする生業継承・活性化、及び②若手担い手人材の地域回帰方策について研究するための初動調査を行います。

2. 日程

3 月 11 日（日）～14 日（水）3 泊 4 日

3. メンバー

学生 3 名（女子学生 2 名・男子学生 1 名）、教員 1 名（出川） 計 4 名

4. 調査・研究内容

今後の継続的研究・実践活動を検討するための初動調査として、以下取組を実施します。

- (1) 山菜等を中心とする地域生産物・産品・集落活動調査
- (2) 山菜等の地域資源を軸とした首都圏発信・PR・交流策に関する研究
- (3) 学生と集落の連携活動プログラム設計のための地域調査

以上を通じて、集落を基本単位とした生業活性化、及び、若手担い手の地域回帰方策について検討するための知見を深めます。

5. 調査地域と内容

(1) 調査地域

あきた元気ムラ（山菜ネットワーク）加盟地域

1) 南部地域

- ①由利本荘市赤田地区「加工場拠点と地域協働の集落活動の展開」
- ②由利本荘市三ツ方森「わらび粉作りを軸とした山林管理プログラム構築」
- ③横手市金井神・上坂部地域「山菜資源の管理と活用・伝承に向けた試み」

2) 北部地域

- ④男鹿市鮎川地域「名水を活かした特産品づくり」
- ⑤五城目町馬場目杉沢地域「山村資源と農家レストランによる交流の村づくり」
- ⑥上小阿仁村南沢地域「栗林から食用ホオズキまで住民手作り活動の活性化」
- ⑦能代市梅内地域「薪・山菜等の森林資源の保全整備と活用」
- ⑧大館市山田地域「原木マイタケの取組、各世代が主となる集落運営」

3) 内陸地域

- ⑨仙北市田沢地域－女性達の手作り山菜料理の地域づくり－

(2) 内容

- ①活動者への御挨拶・ヒアリング（各地区 40 分程度）
- ②生産現場・加工場等地域概況の視察

8. 参加学生の分野と関心領域

(1) 教員・学生の基本プロフィールについて

1) 出川 真也（大正大学エンロールメント・マネジメント研究所、地域創生学部専任講師）
社会教育・生涯学習論。地域集落における若者の地域回帰志向の形成プロセス。地域を担う人材育成とそのための交流・教育プログラムの構築。

2) 本多 龍（大正大学心理社会学部臨床心理学科3年）
臨床心理学（コミュニティ心理学）。地域集落におけるコミュニティ構成メンバーの心理的課題等に対するカウンセリング活動の有効性と可能性について。

3) 平良菜月（大正大学心理社会学部人間科学科2年）
教育心理学。社会教育活動、コミュニティ・福祉活動等を契機とした地域人材育成研究

4) 佐藤絵里花（大正大学地域創生学部地域創生学科1年）
経済・経営学（経営人材育成論）。秋田へのUターン希望。座ガモール・朝市等の運営メンバー。

9. 今後の展望

本取組を契機にして、中・長期的には以下フローの波及展開を企図しています。

①首都圏学生・県内集落の交流・学習活動の活性化、地域産品の首都圏側への若者を通じたPR発信活動実施

↓

②地域住民側の交流・受け入れ・人材育成の促進と首都圏学生の県内UIターン人材の育成

↓

③地域資源を活かした生業形成と若手担い手人材の県内回帰の実現